

平成30年9月定例会での一般質問の主な内容

◆白鳥北部交通機関について

Q. 平成28年12月議会にて一般質問した路線バス石徹白線の日曜日運行は。市長から、「交通事業者も含め、色々な観光事業者あるいは地域の方と相談して進めていきたい」と述べられたが、地元を確認するとまだ相談されていないようなので再度考えを伺うが、リピーターの確保や新たな観光客の獲得には、例えば観光列車「ながら」を利用した旅行商品を開発し、移動手段を確保する必要があるが、以前、市長も述べられたように、大きな財政負担を伴うものであることも理解している。このため公共交通での運行が困難であれば、地域と事業者が連携して白鳥北部観光地ルート確保について、例えば夏の3ヶ月間だけでも、現在、郡上市～下呂市間や郡上八幡IC～郡上八幡城下町プラザ間で実施しているような実証実験を行ってはどうか見解を伺いたい。



A. 石徹白線は、基本的に地域住民の通院・通学の足の確保を主眼に維持しているものであり、観光で利用するには、便と便の間は相当の時間を待つことになり、これを解決するには便数を増強しなければならない。公共交通としては運行経費の増加に見合った費用対効果が見込めるか分析させていただき限り、非常に厳しいものと捉えている。

観光の基礎資料とするために、観光の目的や消費額・目的地などを調査する「観光客ニーズ・ウォンツアンケート調査」を8月末に6地域の道の駅と旧庁舎記念館で実施した。この調査結果を踏まえた上で、阿弥陀ヶ滝や石徹白方面へのニーズを検証し、提案のあった実証実験について検討したい。

◆本市が実行する観光立市とは

Q. 観光立市郡上の取り組みは、市を挙げた取り組みとして、しっかりとした戦略をもちながら、長期的視点に立って進めていくものや、時勢を見た短期集中的なものなど、取り組みに応じて的確に進めていく必要があると思うが、平成29年度から始まった「観光立市郡上」は、2年目を迎え、これからは実践に向かう時期に入ってくると思う。先を見据えた観光立市も大切であるが、今すぐにやる観光立市も大切であると思うため、特にこれからの白鳥地域にとって重要となる白鳥北部の観光振興を市はどのように進めていくのか具体策を問う。



A. 観光立市郡上という理念を掲げて取り組んでいる。議員ご指摘のように理念だけ掲げていても、具体的に何をやるのかということですが、基本理念はもちつつ、できることから一つ一つ取り組んでいくことが大切であると思っている。今年度、あゆパークという強力な拠点ができたと最大限に活かすために、白鳥振興事務所に北部振興担当を就けて、具体的に取り組むための人の配置をした。阿弥陀ヶ滝や石徹白などにお客をどう運ぶかなど検討して、具体策として方策を打ち出していく。

◆相撲場施設整備について

Q. 郡上市相撲連盟の皆様の努力のおかげで、本市において大きな大会を開催できている。市の各部署も相撲連盟の方々と協力し合って今後もぜひ様々な大会誘致・実施をお願いしたい。その中で数年前から郡上市相撲連盟から様々な大会や練習を行ってきた結果、課題が出され施設整備のお願いがあったと聞いていますが、その件について伺う。



A. 平成21年度に郡上市相撲場を竣工し、平成26年度には南側法面スペースの拡幅工事を行った。平成27年度には土俵に亀裂が生じたため、土俵の修繕を行った。これらの整備は大会を通して様々な課題に対処したものである。今後の整備課題として、テニスと相撲の利用者が使用する第2車場の舗装工事、また練習土俵の屋根確保という要望をお聞きしおり、これら合併記念公園の施設整備については、市民球場やテニス場・市民総合運動広場などを含めて、利用者や来場者の安全性・整備の緊急性・大会等の誘致に繋がる効果性などの観点から総合的に検討してまいりたい。

◆提言

予算や優先順位等の関係もあるとは思いますが、施設の整備状況により大会誘致が出来ないという事があってはいけないと思うので、郡上といえば国体開催の相撲という実績があり、立派な相撲場がありますので、しっかりと施設を整えていただき大会誘致等に勤めていただきたい。

民間団体が主催で開催しているわんぱく相撲大会ですが、小学生の出場者は勝ち進めば両国国技館で相撲を取ることができ、市内の小学生も今まで多くの子どもが両国国技館で相撲をしている。こういった経験が出来るのは大変素晴らしい事である。先日郡上北高校の先生にお聞きしたら、市内の中学校には相撲部が無く、小学生の時に相撲をやっているも中学に進学すると相撲から離れてしまい、高校に進学しても地元で相撲をやるとい事が少ないそうです。ぜひ、これからも市として魅力あるスポーツの一つの相撲にしっかりと力を入れていただき、中学校での相撲部設立も検討いただきたい。



日本の滝100選・岐阜県名水50選の阿弥陀ヶ滝は、夏のシーズンになると多くの観光客にて賑わっています。今年度もマスコミ（新聞・テレビ）に取りあげられ効果を表し、多くの来場者がありました。今年からAMIDA上の空き地を無料駐車場として開放しています。お盆明けに現地へ行ってみましたが、お昼過ぎでも多くの観光客で賑わっており、15時過ぎてもたくさんのお客さんが来場されていました。



今年6月にオープンしたあゆパークですが、来場者が既に10万人を越し、大盛況です。土日になりますと駐車場も満車になり、道の駅白山文化の里長滝も含め大勢の人で賑わっています。7月にはあゆパークにてバーベキューもさせていただきました。白鳥地域北部の拠点施設として大活躍しています。